



ご挨拶

日本ペインクリニック学会第7回東海・北陸支部集会

会長 田辺久美子

岐阜大学大学院医学系研究科麻酔科・疼痛医学分野

この度、日本ペインクリニック学会第7回東海・北陸支部集会会長を拝命いたしました、岐阜大学大学院医学系研究科麻酔科・疼痛医学分野の田辺です。

本学術集会のテーマは「**疼痛医療の継承と発展**」といたしました。近年特に、痛みを抱える患者さんに寄り添うことの大切さが言われています。真の意味で痛みを抱える患者さんに応えるためには、知識と技術が欠かせません。疼痛医療の対象は広く、その知識・技術・文化は一朝一夕に身につくものではありません。この東海・北陸地方には、長年にわたり疼痛医療を支えてきた多くの先生方がいらっしゃいます。先人が積み重ねてきた経験と叡智を受け継ぎながら、さらに向上させていくことが、現在診療に携わっている私たちの使命と考え、本テーマといたしました。以前は、治療の対象となる痛みは帯状疱疹後神経痛や腰痛症の様な慢性痛が中心でしたが、近年は、術後の慢性痛だけではなく急性期の痛み、がん性疼痛、痛覚変調性疼痛など対応する痛みの種類も広がってきました。痛み治療も薬物療法のみではなく、インターベンション、運動療法、心理的アプローチなどさまざまなものを組み合わせたマルチモーダルなアプローチが試みられています。本集会では、こうした多様な痛みと治療アプローチについてそれぞれのエキスパートの先生にご講演いただくようにプログラムを作成しました。是非、活発なご議論をいただけると幸いです。

各地で痛みセンターが創設される一方、地方では十分な痛み治療を受けられない地域も依然として存在します。高度な治療へのアクセスが限られた地域においても実行可能な治療を提供し、専門施設との連携を深めていくことも、私たちペインクリニシャンに課せられた重要な役割です。本学術集会が、参加される先生方にとって知の交流の場となり、今後の診療に活かせる有意義な場になりますよう、心より祈念しております。

末尾になりますが、本学術集会の開催にあたり、多大なるご支援・ご協力をいただきました関係各位に、深く感謝申し上げます。